

科目名		演技研究Ⅰ							年度	2025	
英語科目名		Performance StudyⅠ							学期	前期	
学科・学年		声優・演劇科 1 年次		必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員		オーハシヨースケ・古山あゆみ			教員の実務経験		3 0 年	実務経験の職種		俳優・声優	
【科目の目的】											
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。											
【科目の概要】											
映画、テレビ、舞台など、様々な作品に触れながら演技を研究実践する。											
【到達目標】											
表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力を持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対して本質的な向き合い方ができる役者になることを目標にする。											
【授業の注意点】											
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できることを評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3上出席をしない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	卓越した演技技術を持ち、深い理解と創造性で表現が豊かである。	高度な演技技術を理解し、自然で魅力的な表現ができている。	幅広い演技技術を理解し、感情や状況に適切に対応している。	基本的な演技技術を理解しているが、深みや多様性が欠けている。	初歩的な演技技術が不十分であり、表現が不自然である。						
到達目標 B	役柄への卓越した理解があり、独自の深い洞察と創造的アプローチで役柄を豊かに表現している。	役柄の深い理解があり、独自のアプローチが効果的に役柄に反映されている。	役柄の背景や心情を適切に理解し、自己のアプローチが役柄に統合されている。	役柄の基本的な特徴や心情を理解しているが、アプローチに一貫性が欠ける。	役柄の理解が不十分であり、自己のアプローチが明確でない。						
到達目標 C	自己表現が卓越しており、独自の洞察と創造性で表現が豊かである。	自己表現が豊かで多様であり、独自のアプローチが効果的に取り入れられている。	自己表現があり、役柄や状況に適切に反映されている。	自己表現が一部見られるが、多様性や独自性に欠ける。	自己表現や創造性が不十分であり、演技に深みがない。						
到達目標 D	映画の基本的な要素に対する卓越した理解があり、感情や意見が洞察的かつ印象的に表現されている。	映画の基本的な要素に深い理解があり、感情や意見が洞察的に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があり、感情や意見が適切に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があるが、まとめが不十分。	映画の基本的な要素に関する理解が不十分。						
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い						
【教科書】											
毎回授業にて資料配布を行う											
【参考資料】											
「立ち位置」の法則											
【成績の評価方法・評価基準】											
平常点 70% 積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。 レポート 30% 振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		演技研究Ⅰ			年度	2025
英語表記		Performance StudyⅠ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コミュニケーション①	コミュニケーションを知る	心の中のコトバ	「心の中のコトバ」の重要性を体感的に知る		
2	コミュニケーション②	コミュニケーションを知る	コトバの実験	非言語的コミュニケーションが「90%」を占めることを実感として知る		
3	立ち位置	物語と立ち位置の関係を 知る	立ち位置① 立ち位置②	物理的「立ち位置」を理解する 心の中の「立ち位置」を理解する		
4	映像とナレーション	想像力を高める	イメージーション ナレーション 発表	短い映像から物語を想像する 映像に合ったナレーションを考える ナレーションを発表する・聴く		
5	写真とセリフ①	想像力を高める	グループワーク 写真	様々なアイディアを出す シチュエーションを想像する		
6	写真とセリフ①	想像力を高める	ストーリー 発表	写真からセリフを想像する 実際に声をアテてみる		
7	コミュニケーション③	これまでの振り返り	まとめ	これまでを振り返り、自身の成果を確認する		
8	ヴォイスサンプル講座①	マナーとプロセスを知る	スタジオマナー プロセス	スタジオマナーの習得 スタジオ収録に向けた準備プロセスを知る		
9	ヴォイスサンプル講座②	課題原稿に慣れる	ナレーション セリフ	原稿内容を理解して読む 状況設定を行う		
10	ヴォイスサンプル講座③	課題原稿に慣れる	ナレーション セリフ	内容をしっかりと伝える 様々なシチュエーションを想像する		
11	ヴォイスサンプル講座④	収録を体験する	スタジオ プレイバック	収録時の雰囲気を知り、緊張感を体感する 自分の声を聞く		
12	オーディション対策講座①	自分を知る	コミュニケーション 自己プロデュース	グループワークを通して、自身を研究する 自己演出方法を探る		
13	オーディション対策講座②	人前でパフォーマンスをする	発表 グループ	大勢の前で伸び伸びと発言する 協調性を持って発表まで行う		
14	オーディション対策講座③	ファッションメイク	ファッション メイク	自分に合ったコーディネートを知る 自分に合ったメイクを知る		
15	オーディション対策講座④	宣材写真を撮る	プロセス 撮影	撮影に向けた準備プロセスを学ぶ 撮影の雰囲気を体感する		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等